

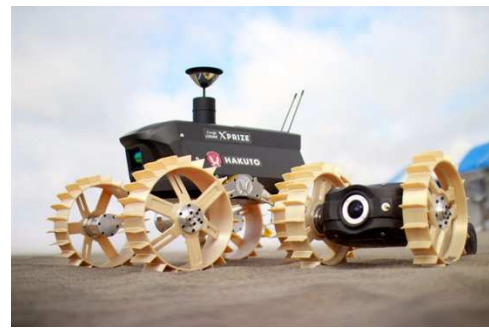
(共同リリース)

2015年10月22日

日本航空株式会社  
株式会社 ispace

## JAL × 月面探査を目指す「ハクト」 コーポレートパートナー契約締結 ～月面探査機「ローバー」の保守に、JAL が培った整備技術などを応用～

日本航空株式会社(本社:東京都品川区、代表取締役社長:植木 義晴、以下「JAL」)と、国際宇宙開発レース「Google Lunar XPRIZE」(以下「GLXP」\*注)に挑戦する株式会社 ispace(本社:東京都港区、代表取締役社長:袴田 武志)が運営する日本初の民間月面探査チーム「HAKUTO」(以下「ハクト」)は、コーポレートパートナー契約を締結しました。本契約は、JAL が2014年6月に発表した「チャレンジ JAL 宣言」の理念のもと、今回のハクトのチャレンジに賛同し、ハクトが開発している月面探査機「ローバー」と、JAL が運航するボーイング 787 型機が同様に炭素繊維を採用していることが契機となり実現しました。今後ハクトは、JAL で培われてきた整備技術やトラブルシューティングの手法を、月面探査機「ローバー」の運用・保守に応用するなど、技術的な連携を視野に入れ、お互いに協働することで、世界初の民間による月面探査を目指します。



JAL は、「チャレンジ JAL 宣言」にて、自ら新たな商品・サービスを毎月導入していくことに加え、各方面でチャレンジする方々をサポートしています。以降、各種アントレプレナーイベント、ビジネスコンテストへの協賛、あるいはスタートアップ企業の製品を活用した顧客サービスのトライアルなどを行っています。こうした取り組みの一環として、ハクトの宇宙へのチャレンジに共感し、パートナーとして支援を行うことになりました。

(注) Google Lunar XPRIZE について

<http://lunar.xprize.org>

Google がスポンサーとなり、XPRIZE 財団によって運営される、民間組織による月面無人探査を競う総額 3,000 万ドルの国際賞金レースです。ミッションは、月面に純民間開発の無人探査機を着陸させ、着陸地点から 500m 以上走行し、指定された高解像度の動画や静止画データを地球に送信すること。1 位のチームには賞金 2,000 万ドル、2 位のチームには賞金 500 万ドルが与えられます。現在、世界各国から 18 チームが参加しています。

ハクトは、月面に民間開発の無人探査機を着陸させ 500m 以上走行し、高解像度の動画や静止画データを地球に送信する「GLXP ミッション」の達成に向けて月面探査機「ローバー」を開発中で、「ローバー」の小型・軽量化のためにさまざまな新素材を積極的に取り入れています。カーボン素材(炭素繊維強化プラスチック)もそのひとつで、炭素繊維は比重が鉄の 4 分の 1 であるにも関わらず、強度は 10 倍にもなり、アルミニウムと比較しても大幅に軽量化できます。同様の炭素繊維が、ボーイング 787 型機でも採用されており、強度を高めながら機体重量を軽量化したことなどにより、従来の同クラス機体と比較して燃費を約 20%改善しています。

オールジャパンの力を結集した月面探査ローバーで、世界初の民間による月面探査を目指すハクトと JAL は今後も協働することで、新しい未来を創るチャレンジを行ってまいります。

#### ◆ハクトについて

<http://team-hakuto.jp/>

ハクトは、株式会社 ispace が運営する、日本で唯一 GLXP に参加するチームです。ベンチャー、大学、そしてプロボノと、様々なバックグラウンドをもった人材が集まり、それぞれの特技を生かし合って月面探査ローバーの開発を行っています。2015 年 1 月に GLXP 中間賞の「モビリティサブシステム」部門を受賞。

